

「ほく、私は土曜日をこう過ごす」

ほくは、完全学校週5日制になって、とてもうれしいです。休みの土、日には、次の三つのことをやりたいと思います。まずは、家族と過ごすことです。二日も休みになるので、いろいろなことが一緒にできて、今からワクワクです。次に、学習です。習いごとを何もやっていないので、今もやっている自主学習をやります。最後は、運動です。家でごろごろしているだけでなく、家の周りをランニングなどをして、丈夫な体を作ります。充実した二日間を、工夫して過ごしたいと思います。



岩室小学校 5年 桐林 祐大



岩室小学校 5年 田中 由佳

今のわたしの第2土曜日と第4土曜日の主な過ごし方は、手強いと自主勉強をやっていることが多いです。この4月から土曜日が全部休みになるので、今から計画してみたいと思いました。時間がたくさんあるということは、遊びや読書もできます。それに、自分で勉強や調べ学習もできます。わたしは、進んで調べることをもっとやりたいと思っていますので、自分で興味のあることをじっくりとやってみたいです。

来年から、学校が週5日制になります。5日制だったら土曜日が毎週休みです。やりたいことはいっぱいあります。来年は、中学生で勉強がむずかしくなるので、勉強をいっぱいしたいです。それから、友達とおもいきり遊びたいです。それに、おもいきりお買い物もしたいです。それから、それからと思っているうちにやりたいことがたくさんできます。早く週5日制になったらいいなと思います。少し遠いけど、新潟にも行って、ネクスト21に行きたいです。



岩室小学校 6年 田中 香織

来年度から土曜日が休みになります。正直、うれしいような不安な気持ちです。たくさん休みができてうれしいけど、勉強がおくれかという不安があります。そこで、私が考えた計画は、普段あまりできないことをたくさんやるということです。毎日の予習復習をまとめてやったり、ゆっくり休養をしたり、普段あまりやらないことをして、楽しく土曜日を過ごしたいと考えています。



岩室中学校 1年 鈴木 彩子

『完全学校週5日制』になったら、皆さんはきっと遊んだり、ゆっくりしたいとお考えでしょう。私も遊んでいたいですが、でも、私は、大好きなクラシックバレエを、土、日ずっとなりたいです。私の土、曜日は、3時～7時半までレッスンです。日曜日は1時～6時くらいまでレッスンをして、帰ってから家でトゥウ・シューズの手入れなどをし、ゆっくりしたいです。私にとっては、とてもげんきな土、日だと思います。



岩室中学校 2年 堀井 千尋

土曜日が休みになると、みんなの楽しみが増えると思います。たとえば、友達の家で遊ぶとか、大人は、会社の友人とゴルフに行くとか。そういう「のんき」な気分になるといいです。でも、せっかくの休日なのに、親孝行をしたりするほうが理想的だと思っています。なんてえらそうに言っていますが、たぶん自分ではできないと思います。それは、今年から高校生になって部活をやるからです。土、日はほとんど一日中練習だと思うので、がんばってレギュラーをめざしたいです。それが、ほくの土曜日の過ごし方です。



岩室中学校 3年 田中 雄介



●先生が一番喜んでくれているのではないかと。子どもを叱れる先生になつてほしい。
●そもそも、教育、しつけは家庭が基本だ。
●中学の部活に関して、柔軟に対応してほしい。
●現行、三味線、琴を少ない時間で教えているが時間かたらない。少なくとも、技術を身に付けさせるまでやってみてほしい。
●唱歌「ふるさと」が支えとなった。何十年後かに思い出せる宝物をさがしてほしい。
●土曜日でも補習をやるようだが心配だ。

●親がしつけにしっかりすべきだ。子どもの居場所を考えて、組織を見直すべきだ。先生からも情熱を持ってもらいたい。
●5日制のめざすものは、子どもたちがゆとりある生活をするのとだ。子どもはゆとりと休みの日をすごしたがっている。非行に陥る子どももないようにしなければならぬ。
●行政の受け皿は適当か。子どもたちを家庭に返し、家族のふれあいをふかめることが最も重要だ。行政は居場所確保のサポート役。モニター制でチェックすべき。



※以上、主なご意見をお知らせしました。この場でのご意見を踏まえて、更に懇談会を重ねる予定となっております。

A 高校や大学の入学者選抜の方法も改善が進められており、従来のような学力試験による点数制や細かな知識を問う方法ではなく、なりつつあります。今後は、思考力や分析力を問う問題の出題、小論文・面接、実技試験の実施など、生徒の学力を多面的に評価し、選抜する方法の工夫が一層進められることになるでしょう。

岩室中学校 校長 神保 達雄

Q1 家庭に望むことは？
土曜、日曜の過ごし方について、親子で話し合ってみてほしい。その際、どのように過ごすかは、生徒の意志で決めるよう仕向けてほしい。家事を担わせ、家族の一員として自覚と責任感を育ててほしい。土曜、日曜も家族をらって朝食を食べてほしい。

Q2 地域に望むことは？
スポーツクラブや文化サークルに子どもたちが参加できるようにしてほしい。

Q3 教師と生徒のかかわりは変わりますか？
大きな変化はないと思うが、学習の遅れがちな生徒に教えたり、総合学習の課題を生徒と共に考えたりするなど、一人ひとりの生徒とのかかわりを深めていく必要がある。

Q4 学校行事等の土、日、休日開催は、今後どういう形が理想ですか？
土曜、日曜に行う行事は現行とあり(体育祭、文化祭は日曜日、合唱コンクールは土曜日の午後)による予定である。

Q5 生徒はどう変わっていくと思いますか？
学校と家庭・地域が5日制と新学習指導要領の趣旨を生かすよう努めれば、主体性のある生徒が育つと思う。また、そうなるようお互いが真剣に努力しなければならぬと思う。

『学校週5日制を考える懇談会』開催

先月5日、公民館講堂で、教育関係者、公民館関係団体の代表、区長ら35名の皆さんが参加して、『学校週5日制を考える懇談会』が開かれました。このコーナーでは、懇談会で出された主なご意見を紹介します。

●現在マスコミ等で論じられている大きな社会問題だ。岩室村第四次総合開発計画にも人づくりが謳われている。実態把握が急務。受け皿、居場所等から、既存施設、組織の見直しが必要だ。授業短縮などで現場はたいへんだ。子どもたちの居場所を、行政、団体、地域がどう過させられるかが問われる。学校側は、地域、行政に遠慮がちだが、積極的に話すべきだ。
●共通理解が必要だ。なぜ5日制なのか、そのねらい等。表面のみだ。5日制は学校制度を考える抜本的な改革だ。教育委員会として、中、長期的なビジョンが必要だ。
●大人が子どもを叱れなくなっている。先般、一番喜んでくれているのではないかと。子どもを叱れる先生になつてほしい。
●そもそも、教育、しつけは家庭が基本だ。
●中学の部活に関して、柔軟に対応してほしい。
●現行、三味線、琴を少ない時間で教えているが時間かたらない。少なくとも、技術を身に付けさせるまでやってみてほしい。
●唱歌「ふるさと」が支えとなった。何十年後かに思い出せる宝物をさがしてほしい。
●土曜日でも補習をやるようだが心配だ。

●親がしつけにしっかりすべきだ。子どもの居場所を考えて、組織を見直すべきだ。先生からも情熱を持ってもらいたい。
●5日制のめざすものは、子どもたちがゆとりある生活をするのとだ。子どもはゆとりと休みの日をすごしたがっている。非行に陥る子どももないようにしなければならぬ。
●行政の受け皿は適当か。子どもたちを家庭に返し、家族のふれあいをふかめることが最も重要だ。行政は居場所確保のサポート役。モニター制でチェックすべき。

●公民館などで料理等をする。缶詰が足りない子どもがいる。公共施設を開放して、親子でできる遊びや、紙芝居、読み聞かせなどで交流したい。備品も揃えてほしい。
●子どもが疲れている。ゆとりをほしい。
●先生が子どもを怒ると、その親が先生を怒りにやる。週5日制がある。村は、子どもたちが集まれる場所を用意してほしい。
●親から責任取ってもらわないと体育協会として、受け皿はどうか。懸念されるのは、責任の所在だ。そうでないと指導できない。

●公民館などで料理等をする。缶詰が足りない子どもがいる。公共施設を開放して、親子でできる遊びや、紙芝居、読み聞かせなどで交流したい。備品も揃えてほしい。
●子どもが疲れている。ゆとりをほしい。
●先生が子どもを怒ると、その親が先生を怒りにやる。週5日制がある。村は、子どもたちが集まれる場所を用意してほしい。
●親から責任取ってもらわないと体育協会として、受け皿はどうか。懸念されるのは、責任の所在だ。そうでないと指導できない。

A 新しい学習指導要領では、学校で共通に学ぶ量は従来に比べて減りますが、子ども自身が選択して学習できる幅が拡大されており、子どもの特性などに応じた学習が活発に行われるようになり、教育内容の厳選によって、子どもはゆとりの中で、読書、算数などの基礎・基本をしっかり習得し、学ぶ意欲や学び方、知的好奇心、探究心を身につけることができ、子どもの学力の質を向上させることにつながります。

Q 学校の教育内容は大幅に変わりますが、高校や大学の入試はどうなりますか？
高校や大学の入学者選抜の方法も改善が進められており、従来のような学力試験による点数制や細かな知識を問う方法ではなく、思考力や分析力を問う問題の出題、小論文・面接、実技試験の実施など、生徒の学力を多面的に評価し、選抜する方法の工夫が一層進められることになるでしょう。